

特定外来生物(植物)の駆除

活動にご協力ください！

【特定外来生物とは】

生態系などに被害を及ぼすおそれがあるとして外来生物法によって指定された海外起源の外来種です。特定外来生物に指定された植物のうち、市内ではアレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウが広範囲で確認されています。自宅の庭や畑等で確認した場合は、駆除をお願いいたします。

また、大規模な繁茂状況を見かけた場合は、環境課まで情報提供をお願いいたします。

アレチウリ

科名:ウリ科
種類:一年草
原産地域:北アメリカ



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
発芽	■	■	■	■	■	■	
開花				■	■	■	
結実							

【特徴】

白く小さい花(約1cm)をつける。葉はハート形に近い5角形で、種子の入っている果実には鋭いトゲがある。種子は翌年に全てが発芽するわけではなく、土に埋まったものが2~3年後に発芽することもある。1つの個体から種子が5000個生まれることもある。全長は10m近くになり、巻きヒゲで他の植物に絡みつき驚異的な生育速度と繁殖力で密生する。

オオキンケイギク

科名:キク科
種類:多年草
原産地域:北アメリカ



	5月	6月	7月	8月	9月	10月
発芽	■	■				
開花	■	■	■			

【特徴】

コスモスに似た形状の黄色い花を咲かせる。高さは0.5m~0.7m。葉は細長いへら状で、根元から放射状に生える。密集しては生え、周辺にある他の植物を締め出して独占する。

右のQRコードを読み取ると特定外来生物の紹介ページが表示されます。各植物(アレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウ)の紹介動画もあります。



オオハンゴンソウ

科名：キク科
種類：多年草
原産地域：北アメリカ



	5月	6月	7月	8月	9月	10月
発芽						
開花						

【特徴】

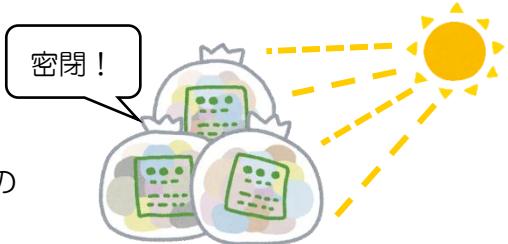
花弁は黄色で細長く、やや垂れ下がっており、花弁中央には黄緑色の筒状花がある。高さは0.5m~3mにも伸びる大型の植物。下部の葉には長い柄があり、5~7つに深く分裂し、裂片に粗い鋸歯がある。根茎の一部からでも地上部を再生する能力がある。

【駆除方法】

駆除方法	特徴
手による抜き取り (根絶を目指す)	効果は確実で、他の動植物などへの影響も少ない。根茎の一部でも残っていると再生するため、スコップ等を使い根ごと抜き取る。
草刈り機による 刈り取り	効率が良く、広範囲の駆除に適している。種子をつける前に実施すると、種子による繁殖を抑えることができる。ただし、根茎から再生するため、継続的な実施が必要。
除草剤	根まで枯死でき、効果も確実で効率も良いが、他の植物も枯らしてしまうため、環境への影響に十分な配慮が必要。

処分方法 ~作業後~

- 駆除した外来種は、密閉できるゴミ袋等に入れて枯らす。
(花や果実がない場合は野積みで枯らすことも可能)
- 燃えるゴミとして処分する。
※種子の拡散を防ぐため、生きたまま移動させる保管するなどの行為は禁止されています。



【禁止事項】



※特定外来生物は以上の事項が禁止とされています。

【お問合せ】

茅野市役所 環境課 環境保全係 TEL: 0266-72-2101 (内線 263)
FAX: 0266-82-0234 E-mail: kankyo@city.chino.lg.jp

15 陸の豊かさも
守ろう

